

溝小だより

<https://mizonobe-kahoku.edumap.jp/>

河北町立溝延小学校

学校通信 No.357

2023.5.31

発行：校長 小林 聡

学校教育目標：ふるさとだいすき かしくく つよく やさしく
～つながりの中で わたしたちが創る 楽しい学校～

「かわらなでしこのふるさと」復活を夢見て

校章にも校歌にも使われている本校のシンボル「かわらなでしこ」。中庭には、6年生が一昨年から「復活プロジェクト」として取り組んだ種から、この春新たに芽を出したものを含めて約100本が育ちました。中には60cmも伸びたものもあるなど、2年目の今年は一段と大きくたくましく育っています。少しずつ花も咲き始めました。白とピンクの可憐な花が次々と咲いていくのが今から本当に楽しみです。

先日の学校運営委員会では、たくさんのアイディアや意見が出されました。桜堤溝延橋を渡って「かわらなでしこのふるさと 溝延」に入ると、あちらこちらで群生したかわらなでしこがお迎えし、目を楽しませ、心を癒やしてくれる、そんな未来の地域を想像しました。

来年は創立150周年の節目の年です。溝延・田井のみなさんが大切にしているかわらなでしこは、地域の子どもをみんなで育てる溝延小学校そのものです。たくさんのかわらなでしこに囲まれた中で、みんなでお祝いできたらどんなにうれしいだろうかと思っています。

実現するためのアイディアがございましたら、ぜひ学校にお知らせください。



「わたしが リーダーとして大切にしたいこと」

第1回授業研究会 6年道德 「自分の役割を果たす ～子ども会のキャンプ～」



町教育委員会の秋葉指導主事をお迎えし、今年度最初の授業研究会を行いました。

最高学年になって通学班長や運動会の組頭等、様々な場面で先頭に立って活動している6年生が、「自分がリーダーとして大切にしていること、大切にしたいこと」はどんなことなのか。様々な場面で失敗はつきものですし、失敗した後どうするかが最も大事なことです。一人一人がこれまでの大変さや苦労等の経験と、仲間との交流を基にして自分の考えを深めていきました。リーダーとしての責任と難しさ、やりがい等、決意を新たにしていた6年生のリーダーとしてのがんばりが一層楽しみになりました。これからも地域で家庭で、励ましの声がけをよろしくお願いいたします。

本校ホームページへ
こちらからどうぞ

